



認知症サポーターキャラバン

9月は「かがわ認知症予防月間」です

▶申し込み・問い合わせ
地域包括支援センター ☎ 73-3017
南部高齢者サポート ☎ 67-3788

市内で行っている活動の一部を紹介します

毎年9月は「かがわ認知症予防月間」です。個人で、家庭で、地域全体で認知症について少し考えてみませんか。今年6月18日に厚生労働省が発表した認知症施策推進大綱では、認知症の発症を遅らせ、認知症になっても希望をもって暮らせる社会をめざし、「共生」と「予防」を両輪に施策を進めていくとされています。

予防については、「認知症にならない」という意味ではなく、「認知症になるのを遅らせる」「認知症になっても進行を緩やかにする」という意味です。

市では「認知症になっても誰もが安心して暮らし続けることができるまち」をめざして、正しい知識と理解に基づいた認知症への「備え」ができるように、さまざまな取り組みを実施しています。



教えて！ロバ隊長！

「ロバ隊長」は認知症サポーターキャラバンのマスコットキャラクターです。ロバのように急がず、しかし一歩一歩着実に進もうという思いが込められています。



ロバ隊長のひと言

認知症になると記憶力や理解力は低下しますが、一度に全てのことができなくなるわけではありません。本人の話をじっくり聞き、優しく、温かい気持ちで接することが大切です。

また、プライドが傷つけられると、時に攻撃的になり症状を悪化させることがあります。

視点を変え、「できないこと」を責めず、「できていること」に注目してその人らしい生活を支援しましょう。

どこに相談すればいいの？

かかりつけ医、認知症疾患医療センター、地域包括支援センター、社会福祉協議会、民生委員、介護・福祉施設などに相談してください。早期発見することで、症状の進行を遅らせることもできます

認知症サポーター養成講座

認知症の人や家族が住み慣れた地域で安心して生活するためには、周囲の人の正しい理解が必要です。「認知症サポーター養成講座」では、認知症を正しく理解し、接し方やサポーターとしてできることなどを学びます。受講後は認知症の人やその家族を温かく見守る応援者として、自分のできる範囲で活動します。現在、市内の小・中学校や地域住民、企業・団体などでサポーターを養成しており、5,000人を超えるサポーターが市内で活躍しています。



▲▼山本小学校での講座の様子。寸劇や話し合いの中で自分たちにできる関わり方を学びます

皆さんもサポーターになってみませんか？

【認知症サポーター養成講座】

- 日時 9月26日(木) 午後1時30分～3時
- 場所 危機管理センター
- 対象 市内在住の人
- 定員 30人



▲オレンジリング

受講した生徒の声
忘れ物をしたときには、一緒に探したり、心を傷つけない言葉遣いをしようと思います

- ・受講料、申し込みは不要です。直接会場にお越しください。
- ・受講修了者にはサポーターの証であるオレンジリングを授与します。

上記の日程以外にも、学校、企業、団体などでの実施希望があれば、随時講師を派遣します。(場所については受講団体で確保をお願いします)



オレンジかふえ

オレンジかふえとは、認知症が気になる人や認知症の人とその家族、地域の人など誰もが気軽に集える場所です。専門職がスタッフとして常駐しており、その場で個別の相談ができます。今年度から、より身近な場所を通えるよう、市内7カ所で開催しています。毎月の日程は、広報紙の「保健・相談」のページに掲載しています。(今月は24ページをご覧ください)



気が軽に、専で何でもお茶を飲みがな

脳きり教室

脳きり教室では、認知症予防のために脳を活性化させるレクリエーションや、認知症になっても安心して暮らすための情報をさまざまな講師をお招きし、分かりやすくお伝えしています。今年度から、40歳以上の人も参加できますので、ぜひご参加ください。



▲栄養士さんによる「誰でも出来る！脳活レシビ講座」。バランスの良い食事について教わった後、各自で献立を考えてみました

- 日程 5月～翌年2月まで 毎月各町で開催
- 時間 午後1時30分～3時
- 対象 おおむね65歳以上の人(40歳からでも参加できます)
- 参加方法 当日会場にお越しください。

毎月の日程は、広報紙の「保健・相談」のページに掲載しています。(今月は25ページをご覧ください)

認知症本人の集い

認知症のことを本音で語り合いませんか？ぜひご参加ください。

- 自分の体験や思いを話したい
- 同じ仲間と知り合いたい
- 情報を共有したい
- 他の家族の話が聞きたい

日程	場所
9月19日(木)	豊中町農村環境改善センター
9月30日(月)	財田町国保高齢者保健福祉支援センター

- 時間 いずれも午後1時30分～3時
- 対象 認知症の本人と家族
- 参加方法 当日会場にお越しください。

高齢者等徘徊 SOS ネットワーク事業



認知症などにより徘徊、行方不明になった場合に、協力機関、協力員へのメール配信などを通じて、早期発見、早期保護を図る仕組みです。捜索活動に協力いただける協力員を募集しています。

また、認知症などにより、記憶力や判断力が低下し、道を間違えたり自分の家が分からなくなったりすることがあります。できるだけ早く発見し保護できるよう、事前登録をご利用ください。事前登録を希望される人は地域包括支援センターまでご連絡ください。

協力員を募集しています

【協力員の登録方法】

「mitoyo_ksos@yb74.asp.cuenote.jp」に空メールを送信、または右のQRコードからメールを送信してください。



※ドメイン指定受信をしている場合は、「@fscy74.asp.cuenote.jp」および「@city.mitoyo.lg.jp」からのメールを受信できるように設定してください。

運転免許証返納後の相談支援を行います

5月31日、認知症が疑われる人の早期発見、早期対応などを目的に、県、県警本部および三豊市の3者で「認知症高齢者等の情報提供及び支援に関する協定」を締結しました。

これにより、運転免許更新時に行われる認知機能検査などで認知機能の低下が認められ、それを理由に免許証の自主返納を行った人に対し、運転免許センター内に新たに配置した看護師などが面談を行います。そのうち、本人の同意が得られた人で継続的支援を希望する高齢者に対しては、情報共有を行い、市と地域包括支援センターの職員が訪問し、相談支援を行います。